

アンケート調査項目について

1 利用者アンケート

設問項目	調査目的
問1 回答者属性 性別、年代、職業、居住地、最も利用する駅、 運転免許証所有状況、 <u>運転状況</u>	問2以降の設問回答との組み合わせにより、各属性の利用実態等を把握し、今後の運行改善策の検討につなげる。
問2 利用状況 はなバスを利用した外出の目的 乗車直前・降車直後の場所と所要時間 乗車直前・降車直後移動手段 目的地：市内、 <u>市外</u> 利用頻度、代替移動手段、乗車回数、利用理由	はなバスの利用目的、乗降前後の移動手段、頻度等に加えて、利用する理由を確認し、乗降調査の結果と合わせてはなバスを利用した際の目的地等の利用実態を把握する。
問3 はなバスの運行評価（満足度、 <u>重要度</u> ） 行き先・運行ルート、乗車所要時間、バス停位置、 運行本数、始発時刻、終発時刻、ダイヤの利便性、 運賃、定時性、遅延許容範囲、 小学生車内放送、情報発信状況、運転マナー等	はなバスの運行について、運行ルートや運行時間、定時制などの視点から、満足度と合わせて利用者にとっての重要度を把握し、利用者の視点からの運行改善策の検討に活用する。
問4 <u>新型コロナウイルス感染症の影響</u> <u>利用頻度の変化、変化の理由、今後の意向</u>	新型コロナウイルス感染症拡大以降の利用者数の増減について、感染症の影響による変化、及び同時期に実施した運行改善の取組の影響をそれぞれ把握し、評価することで、今後の運行改善の方向性の検討につなげる。
問5 <u>ダイヤ改正の影響</u> <u>利用状況の変化と理由</u>	はなバスの収支状況の変化、運行補助金の現状を明らかにした上で、利用者の運行補助金に対する認識を把握し、今後の運行改善の施策検討につなげる。
問6 運行補助金についての評価・認識 補助金に関する認知度、評価、今後について 運賃収入、運行経費、市の施策、補助額についての考え	はなバスの収支状況の変化、運行補助金の現状を明らかにした上で、利用者の運行補助金に対する認識を把握し、今後の運行改善の施策検討につなげる。

2 市民アンケート

設問項目	調査目的
問1 回答者属性 性別、年代、職業、居住地、運転免許証所有状況、 運転状況、最寄り駅・駅までの移動手段、 普段利用する駅とその理由・駅までの移動手段	問2以降の設問回答との組み合わせにより、各属性の利用実態等を把握し、今後の運行改善策の検討につなげる。
問2 利用経験と認知度 利用したことがあるか、知っているか	はなバスの利用経験により、以降の回答箇所の振り分けを行う。
問3 利用状況(平日・土休日ごと) ※利用経験のある方向け 利用目的 利用ルート 利用時間帯 目的地：市内、 <u>市外</u> 利用頻度、代替移動手段、利用理由 運行評価 (満足度・重要度) 行き先・運行ルート、乗車所要時間、 バス停位置、運行本数、始発時刻、 終発時刻、ダイヤの利便性運賃、 定時性、遅延許容範囲、 小学生車内放送、情報発信状況、 <u>運転マナー等</u> 新型コロナウイルス感染症の影響 <u>利用頻度の変化、変化の理由、 今後の意向</u> ダイヤ改正の影響 <u>利用状況の変化と理由</u>	はなバスの利用目的、乗降するバス停、乗降前後の移動手段、頻度等に加えて、利用する(必要とする)理由などの利用実態や運行に対する評価を把握する。 新型コロナウイルス感染症拡大以降の利用者数の増減について、感染症の影響による変化及び同時期に実施した運行改善の取組の影響をそれぞれ把握し、評価することで、今後の運行改善の方向性の検討につなげる。
問4 普段の外出について ※利用経験のない方向け 外出目的、利用する交通手段、はなバスを利用しない理由	はなバスの利用経験がない方の外出や理由を分析することで、利用者増に向けた改善案を検討する。
問5 運行補助金についての評価・認識 補助金に関する認知度、評価、今後について 運賃収入、運行経費、市の施策、補助額についての考え	はなバスの収支状況の変化、運行補助金の現状を明らかにした上で、利用者の運行補助金に対する認識を把握し、今後の運行改善の施策検討につなげる。